

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

↳ 譲渡所得の調査結果

Q : 国税庁から昨年度の譲渡所得の調査結果が公表されたそうですが、どのような内容でしたか。

A : 税務職員の人員削減もあってか調査件数は大きく減っていますが、そのぶん高額・悪質なケースを重点的に調査したということです。

【解説】

国税庁から公表された「平成13事務年度における譲渡所得の調査実績」によると、調査件数は14,265件で前年度比△35.3%の減少、申告漏れ額は1,288億円で前年度比△25.5%の減少という結果になっています。

調査で発見された悪質事例としては、次のようなケースがあったということです。

(1) 土地を譲渡するにあたり、譲受人から代金の一部を「建設協力金」なる架空の名目で受け取り、その金額を譲渡収入から除外して申告していた。

(2) 取得した土地に造成工事をして譲渡した事例で、造成業者と通謀して架空の造成工事を行ったとする虚偽の請求書等を作成し、土地の取得費を水増計上していた。

(3) バブル期に購入したゴルフ会員権を、実際は譲渡していないのに自らの主宰する法人に譲渡したかのように偽装し、ゴルフ会員権の譲渡損失を計上して他の所得と損益通算していた。

(4) 海外に所有する有価証券を譲渡した際、海外取引だから容易には発見されないと考え、譲渡の事実を隠匿していた。

